

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 6月17日更新

事務事業名		菊池広域連合消防本部運営事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	齋藤 和広
	施策	15	防災対策の推進			所属課	交通防災課	担当者名	毛利 一生
	施策の柱	48	災害予防対策			所属班	交通防災班	(内線)	1243
予算科目		会計一般	款 9	項 1	目 1	事業連番 10005	根拠法令	菊池広域連合規約	
終了、開始年度		☐ 31年度で終了 ☐ 31年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	菊池広域連合消防本部に対し、活動負担金を支出する事務である。 平成16年度に消防組合と菊池広域の消防署が合併し、菊池広域連合が誕生し、4市町（菊池市、合志市、菊陽町、大津町）で運営をしている。 平成16年度に合併し広域化を行ったので、広域連合管内の人口が増加した。また、更なる消防の広域合併の動きがある。
【業務の流れ】	・負担金の支払い事務
【主な予算費目】	・広域連合消防組合負担金
【意見や要望】	・特に聞いていない

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)		2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
管内2市2町による運営負担金により、本組織の円滑な運営を支援した。		・負担金の支払 (分割)	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 負担金支払回数		回	泉ヶ丘消防署の移転費用に係る負担金の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・菊池広域連合消防本部		→ ア: 消防本部数	(単位) 箇所
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
・円滑に運営することができる。		→ ア: 年間主要事業の達成率	(単位) %
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
・菊池広域連合消防本部運営事業の負担金であり、成果指標の菊池広域連合消防本部の年間主要事業の達成率とした。			全体計画
			～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
① 活動指標	→ ア: 回	回	4	4	4	4	4	4	4	4
② 対象指標	→ ア: 箇所	箇所	1	1	1	1	1	1	1	1
③ 成果指標	→ ア: %	%	100	100	100	100	100	100	100	100
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	491,319	519,356	547,523	547,523	607,623	500,000	500,000
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	491,319	519,356	547,523	547,523	607,623	500,000	500,000
		(A)のうち指定経費	千円	491,319	519,356	547,523	547,523	607,623	500,000	500,000
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1
人 件 費	延べ業務時間	延べ業務時間	時間	10	30	30	30	30	30	30
		(B) 人件費計	千円	39	118	119	118	119	119	119
	トータルコスト(A)+(B)		千円	491,358	519,474	547,642	547,641	607,742	500,119	500,119

事務事業名	菊池広域連合消防本部運営事業	所属部	総務部	所属課	交通防災課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度的事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ・負担金を納入し円滑に運営することができる。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 ・成果は毎年満たされているが、継続して取り組む必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・広域連合で計画的に策定された負担金の額であり、削減できない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・主に、負担金支払だけの事務を行っており、削減の余地がない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・常備消防力の強化は、市全体に関わることであり、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・消防行政を目的として関係市町で設置した一部事務組合であり、適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

・請求に対して予算どおり執行できた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												